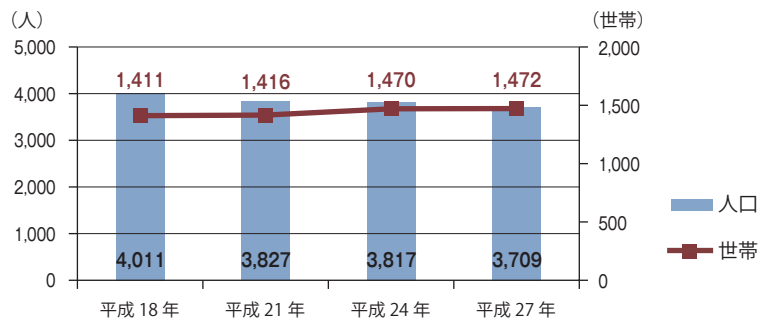


## 2-3 杉谷地域

### (1) 地域の概況

#### 1. 人口・世帯

- 人口は、平成18年の4,011人から平成27年の3,709人へ減少傾向にあります。
- 世帯数は、平成18年の1,411世帯から平成27年の1,472世帯へ微増しています。



#### 2. 土地利用

- 地域の大部分が、農業振興ゾーンであり、主に田畑による土地利用となっています。
- 国道251号沿線に、商業施設が立地しています。
- 住宅地は、市道制札江里線沿いに形成されています。

#### 3. 交通体系

- 道路は、地域高規格道路「島原道路」、国道251号、一般県道野田島原線、広域農道（雲仙グリーンロード）、主要地方道愛野島原線が整備されています。
- 公共交通は、島原鉄道と路線バスがあります。

#### 4. 公園・緑地・湧水等の自然環境

- 江里神社や宇土出口の湧水地付近に、ゲンジボタルが生息しています。
- 中尾川砂防指定地には、ゲートボール場や多目的広場が整備されています。
- 上折橋町の砂防指定地には、芝桜やコスモスが植栽された芝桜公園が整備されています。

#### 5. 住環境

- 第四小学校と長崎県立島原農業高等学校、保育園があります。
- 杉谷公民館があります。

#### 6. 景観形成

- 中尾川沿いは、棚田の美しい景観を形成しています。
- 旧島原藩薬園跡周辺は、瓢箪畑風致地区に指定されており、島原城と有明海の雄大な風景を望むことができます。

#### 7. 防災

- 焼山から中尾川全流域が、砂防指定地に指定されています。
- 中尾川の河口が、災害危険海岸区域に位置づけられています。

## (2) 地域づくりの基本方向

### 豊かな自然に恵まれた快適なまちづくり

杉谷地域では、中尾川砂防指定地の緑化整備に努め、棚田の美しい景観や島原城と有明海の雄大な風景を望む快適なまちづくりを進めます。

## (3) 地域づくりの方針

### 1. 土地利用の方針

- 「農業振興ゾーン」として、県下有数の農業地帯の更なる振興を進めます。
- 優良農地や田園風景を保全し、農村集落における住環境の維持・向上に努めます。
- 工業拠点である島原新港三会工業団地を中心に、周辺地域の工業・流通業等への利用促進を図るため、環境整備を行います。
- 現在の土地利用状況を踏まえ、用途地域の見直しを検討します。
- 瓢箪畑風致地区の保全に努めながら、地域の実情に応じた風致地区の見直しを検討します。

### 2. 交通体系の整備方針

- 地域高規格道路「島原道路」 島原インターチェンジ周辺の更なる利便性向上に努めます。

### 3. 公園・緑地・湧水等の整備方針

- 中尾川砂防指定地の利活用を推進します。
- 湧水やゲンジボタル生息箇所の保全に努めます。

### 4. 住環境の整備方針

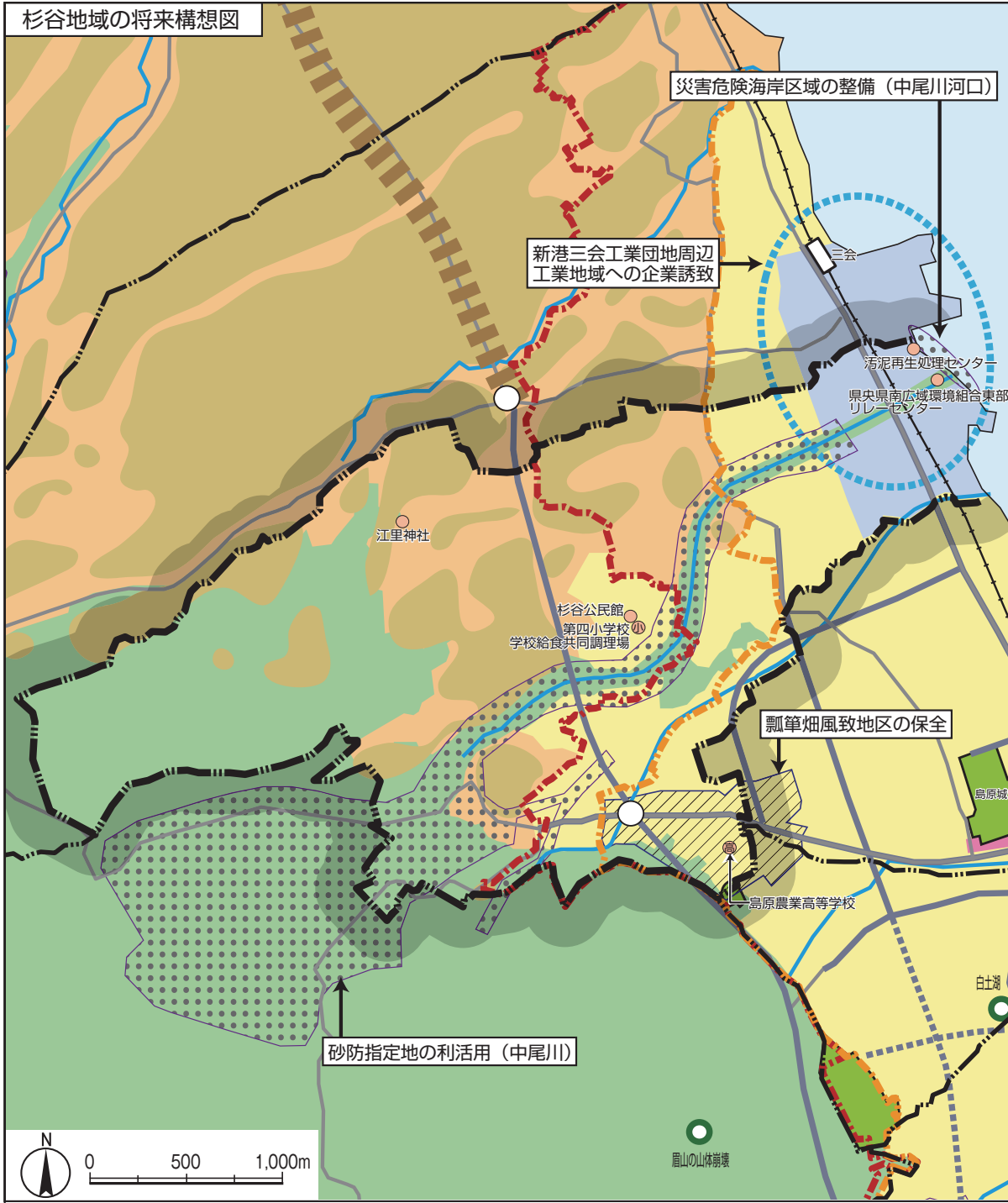
- 適正な土地利用を推進し、快適な住環境の形成に努めます。
- 民間住宅の耐震改修を促進します。

### 5. 景観形成の整備方針























- 棚田等の美しい田園景観を保全します。

### 6. 防災都市づくりの整備方針

- 関係機関と緊密に連携しながら、眉山の治山事業を円滑に推進します。



凡例

 地域界	 住宅地	 工業拠点	 ジオサイト
 都市計画区域界	 商業・業務地	 風致地区	 公共施設等
 用途地域界	 工業地	 災害発生危険区域	 インターチェンジ
 都市計画道路 (整備済)	 農地	 島原鉄道	 主な河川
 都市計画道路 (未整備)	 農業集落地		
 地域高規格道路	 自然緑地・砂防指定地		
 主な道路	 公園・緑地		